

N様邸「エアブレス」の家完成です

牛田の閑静な住宅街にN様邸があります。N様から新築のお話しを頂いたの丁度一年前でした。あきらめていた新築がにわかに現実味をおびた時、家に対するこれまでの想いが湧き水のごとくあふれる奥様の気持ちにお応えしようと、ねじりはちまきで望んだ松川社長でした。

1. 奥様からは子供の頃の家にまつわる思い出や家に対する想いを写真や切り抜きにコメントを付けた数枚のご要望書をはやくに頂きました。さらにご自分でソフト（マイホームデザイナー）を買われ思い描く平面プランも考えられました。ご希望がストレートに伝わりさらに良くのご提案やアドバイスへと形になるプロセスが充実したものとなりました。



ご夫婦は本当に勉強熱心で行動力があり色々なショールームを廻られ、構造・断熱・空調・換気システム・国からの補助・住宅設備・質など幅広く、そして深くご質問を受け、1つ1つお答えし、勉強不足の点もお調べし、お答えして200年住宅を目指した『あんしん なっとく こだわりの我が家』を建てて頂きました。



2. 昨年12月、引越し後のN様邸にお伺いしました。「どうかと思っていたけれど、やっぱり暖かいねえ」と、ご主人様。様々な工法をご覧になった上で『エアブレス』を選ばれたご自分に間違いなかったと確信の一言でした。確かに、実感できる、エアブレスです。玄関に入った瞬間から暖かくて早速「うらやましい・・・」と、言ってしまいました。N様のご要望である『夏、暑くない家』もこの夏には実感されることでしょう。



シンプルでシックな外観とアルミ鋳物の門扉・柵



3

将来エレベーター設置場所の吹抜け

3. 大容量の玄関収納を横に奥へ進むと将来のエレベーター設備を考えた、3Fまでの吹抜けスペースがあります。この時は新しい家でお迎えるゲストへの歓迎ディスプレイ高さ2.2mのクリスマスツリーが綺麗に飾られていました。

4. そしてゲストルームの隣の本格和風の和室には、新しい家の為にご夫婦の大好きな沖縄中を探し歩いてたどり着いた守り神シーサーが鎮座していました。（ちなみにこのシーサーは若い作家の一品物だそうです。）前かがみで今にも飛び出しそうな今まで見たことのない素晴らしく良く又、メラメラとした躍動感のあるシーサーでした。



4



おしゃれなクリナップのL型対面キッチン



高さを変えられる大容量本棚

2 Fは憩いのスペース

奥様こだわりのキッチンと大容量の本を収納できるリビングが特徴です。フットワークのよい奥様が、ご案内した数箇所のショールームをご覧になり、納得いくまで通い決められたキッチンです。収納は以前から使われていた食器棚を測り、置くスペースも決めてありました。本に特別な想いをもっておられる奥様は常に自分の周りに本があると落ち着くそうです。本は様々な高さ、巾、厚みがあり、固定棚では大容量収納とはならないので床から天井までどの位置にも高さを変えられる収納をご提案致しました。

3 Fは家族の寝室です。ご主人のこだわり『杉うづくり』

の床は足ざわりが良く気持ちいいです。『うづくり』とは年輪の凹凸を際立たせた木材の加工のことです。立体感が生まれ、木の風合いを目と肌で味わえます。歩行が楽で湿度の調整もしてくれ暖かく素足での生活が楽しめます。これはなかなかのヒットでした。ホールには床から天井までの壁本棚を設け『本』のある生活を楽しんでいます。収納は奥様のご希望で1ヶ所集中で必要な物だけ部屋の中に入れるという考えでシンプルを目指されています。この空間は見学会でも大好評で『これがすごくいい』と言って頂きました。

お嬢様のお部屋の壁紙はホワイトに小さなピンクの花がたくさん入っています。お嬢様ご自身で決められました。照明もコーディネートされ花模様としさりげなくキュートな女の子のお部屋になりました。

息子様のお部屋の壁紙はホワイトベースのストライプで一面のみ無地というシンプルスマートだけれど、それだけでは終わらない少し背伸びした男性の部屋になりました。



杉うづくり床と本棚



板張りの勾配天井と屋根を支える梁

ご夫婦の寝室は天井を屋根勾配に合わせて板張りにし、屋根をささえる太い梁を見せています。うづくりの床との調和も良くとても落ち着ける空間です。N様邸は窓の位置にもこだわりがあります。ご近所様や少し離れたマンションとの相互目線の配慮から部屋の各所に高窓が施されています。その高窓から見る景色は広い空と少し先の山の木々。日々少しずつ味わいを変える風景画の様です。又、この高窓から入る日差しは部屋の奥の奥まで入り部屋の印象を変えてゆきます。



ご主人
奥様
息子さん
娘さん

最終に玄関前でご家族写真を1枚パチリ。ご家族の笑顔を見る時、家造りのお手伝いをさせて頂いた喜びと感謝の気持ちでいっぱいになりました。「家を建てて下さり、有難うございました。」との次の世代を担うご子息様からのきちんとした挨拶に背筋が伸びる思いでした。N様、これからも末永くのお付き合いよろしくお願い致します。

N様邸はマイホーム1・2月号にも紹介しています。